

# アベノジャーナル Journal

## 木下吉信市政報告機関誌

発行所 木下会事務局 ☎06-6621-2651  
http://www.kinoshita-yoshinobu.com/  
E-mail:kinoshitakai@oct.zaq.ne.jp  
〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町1-52-13  
発行責任者 寺田 武 年2回(1月・7月)発行

### 政令指定都市20市比較

#### 【介護保険料(年額)の推移】

	H24~26	H27~29	H30~R2	R3~R5
大阪市	② 70,764円	① 81,096円	① 95,124円	① 97,128円
京都市	⑤ 65,280円	⑤ 72,960円	④ 79,200円	② 81,600円
堺市	⑧ 64,188円	④ 73,536円	③ 79,476円	③ 81,480円
名古屋市	⑤ 65,280円	⑦ 70,728円	⑤ 76,692円	④ 79,704円
新潟市	① 71,400円	② 74,100円	⑥ 76,236円	⑤ 79,692円
	⋮	⋮	⋮	⋮
政令都市平均	62,892円	68,652円	73,596円	76,572円

※3年毎の改定となる為、3年間は同じ保険料  
※○数字は政令市間における各都市の順位

#### 【国民健康保険料(年額)の推移】

	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
川崎市	①151,928円	①148,431円	①154,971円	①157,118円	①156,060円	①180,001円
大阪市	⑤134,838円	⑥134,838円	⑤140,488円	④140,488円	⑤146,109円	②161,159円
横浜市	③140,289円	②143,777円	③147,663円	②148,903円	②151,735円	③159,226円
堺市	⑩127,013円	⑦133,026円	⑥139,588円	⑥137,980円	⑦143,496円	④158,059円
名古屋市	②140,300円	③142,440円	⑧138,752円	⑤139,249円	④146,981円	⑤156,824円
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
政令都市平均	131,173円	132,648円	135,198円	134,121円	136,906円	144,148円

※各都市における一人あたりの平均保険料  
※○数字は政令市間における各都市の順位

## ご存知ですか?

# 高齢者の保険料負担の現状

## 日本一高い大阪の介護保険料

高齢者に対する保険料については、主に介護保険料と国民健康保険料があります。いずれも、国の制度に基づいて自治体ごとに保険料が設定されており、大阪市は全国でもトップクラスの保険料が徴収されています。

この事については、かねてから自民党の大阪府議団を中心に自民党大阪府連として政府や厚生労働省等、関係機関に制度の改正を求めておられますが、一向に改善されていません。むしろ、少子化対策という

名の下で、子育て支援策ばかりが次から次へと打ち出され、高齢者に対する行政サービスの拡充は後回しとなっています。別表の通り、政令指定都市(20市)の比較でも、国保料も介護保険料も大阪市が高負

担となつています。もちろん国の制度に基づいて算出される保険料ですので、自治体の裁量で操作できるものではありません。とりわけ介護保険料に関しては、低所得者層の増加と単身高齢者の増加が高額化の原因となっている、との事です。

ただ、これだけの保険料を負担して生活されている高齢者に対して、本当に大阪市として、行き届いた行政サービスを提供できているのか甚だ疑問です。

橋下市長就任以降、老人会等に対する各種補助金のカットや赤バスの廃止等、高齢者を取り巻く環境は決して、住み良い状態になっていないと思えます。

とりわけ、現役世代への無償化議論では、所得制限を撤廃する等、様々な形で積極的に取り組まれているのに、限られた年金で生活している高齢者に対する政策は一向に進んでおらず、知事や市長の政策決定のプロセスに偏りがあると言わざるを得ません。

このような高齢者対応については、議会の関係者が党派を超えて取り組んでいただかないと、市民の老後の安心につながらないと思います。



# 統一 地方選

# 維新圧勝!

～府会・市会で過半数獲得～

### 大阪市議選(阿倍野区)

当	梅園 周(維新・現)	1万3326票
当	谷井正佳(維新・新)	1万1343票
当	木下吉信(自民・現)	1万0748票
	田中一範(無・新)	8037票
	椛田健吾(れいわ・新)	3589票

### 大阪府議選

	今回 (定数79)	前回 (定数88)
維新	55	(51)
公明	14	(15)
自民	7	(15)
共産	1	(2)
立民	1	(1)
無所属	1	(4)

### 大阪市議選

	今回 (定数81)	前回 (定数83)
維新	46	(40)
公明	18	(18)
自民	11	(17)
共産	2	(4)
無所属	4	(4)

第20回統一地方選は、4月9日に投開票が行われ、維新の会が府議選で55議席、大阪市議選で46議席を獲得し、両議会で過半数の議席を有する圧倒的第一大党となりました。また、同日に執行された大阪府知事選、大阪市長選でも維新公認で出馬した吉村洋文氏と横山英幸氏が他の候補者に大差をつけて当選しました。

今回の統一地方選挙で維新の会は4月23日に行われた後半戦も含めて、全国的に旋風を巻き起こし、首長・地方議員あわせて774人の当選者を誕生させ大躍進。維新の春となりました。

維新旋風が吹き荒れる中、阿倍野区では木下よしお氏(自民・現)が9期連続当選! 維新旋風が吹き荒れる中、阿倍野区では木下よしお氏(自民・現)が9期連続の当選を果たしました。とりわけ、今回の選挙は元自民府議の田中一範氏が自民党を離党して無所属で出馬する等、保守分裂選挙となり注目される選挙区となっていました。

今回の当選で、木下よしお氏は大阪市議団全体の最多当選議員となりました。

また、自民党大阪府連でも2度目の総務会長に就任する等、自民党復活に向けた今後の活躍が大いに期待されます。

今年もやります! プレミアム付き商品券 \$1万円が1万3千円になります!

物価高対策として大阪市では、昨年が続いて地域経済の活性化を図る事を目的にプレミアム付き商品券を発行する事になり、7月7日の臨時議会で補正予算が承認可決されました。

しかも、発行数を昨年の295万口から440万口と大幅に増やした他、対象店舗も昨年は使えなかった飲食店や、宿泊施設等でも使えるようになっています。

事業費の総額は16億7000万円との事です。

購入制限については、昨年同様お一人様4口まで、利用期間は今年12月頃から来年の5月末頃までを想定していると事です。

★★★★★★★★

前回の商品券事業は、

現在、大阪市では、取

大阪市内居住者優先ではあるものの誰でも購入できましたが、今回は大阪市内居住者のみを対象としている事が特徴です。

り扱い事業者の公募作業に入っており決定次第、商品券購入申し込みのスケジュール等詳細の告知を行う事になっています。





# 波乱!?! 高校授業料・無償化議論 混乱!?! ~私学連が反発!!~

**超過分は私学の負担!?**

大阪府の吉村知事は、選挙公約に掲げていた高校の授業料無償化に向けた制度設計を発表しました。

現在、私学に対する補助制度は保護者の所得割合に応じた補助金が国と府から支給されており、この額を超える部分については保護者負担となっています。

今回の無償化制度では、保護者の所得制限を撤廃し、私学に通う生徒すべての授業料を一律に無償化しようとするものです。

ただし、生徒一人あたりの国・府の補助金の合計が年間60万円を超える部分については保護者に負担を求め、私学が経営努力によつて負担をする制度設計となっている。学校によつては経営悪化を招きかねないとの反発が起きている。

そもそも、義務教育でない高等教育の私学にとつては、スポーツ等のクラブ活動に力を入れた

り、海外のハイスクールと提携して留学制度を設けたり、特色あるカリキュラムで生徒募集を行っており、著名な指導者や外国人教員を雇用する等、それに伴う施設整備を充実させる事で公立高との差別化を図ってきました。

今回の制度案について私学関係者の一人は、「事前に何の相談もなく、維新が勝手に公約に掲げて、民意を得たから、それに従え！」というような乱暴な議論で、もしこの制度案に賛同して頂けないのであれば、これまで支給されていた府からの補助金はすべて打ち切ると言われました。」と憤りをあらわに話して下さいました。

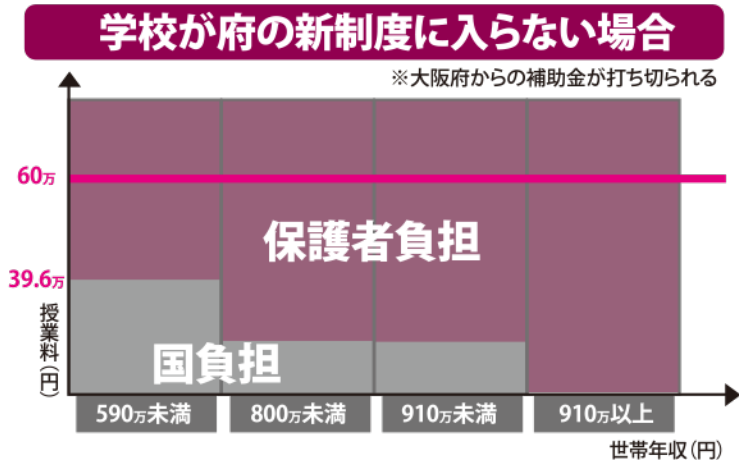
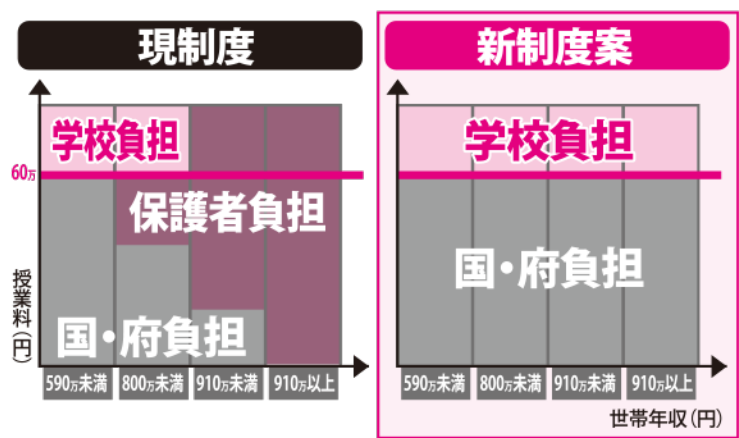
また、別の関係者は、民間企業が商品を開発し販売しようとする時に、知事から「この商品をナシポで販売しなければ経営支援の補助金は打ち切ると言われ、勝手に値付けされているみたいで極めて印象が悪いです。」とまるで恫喝されているような水面下の交渉の実態が明らかになりました。

**他府県の私学も反発!**

今回の制度案では、府下在住の生徒が対象となる為、仮に京都や兵庫の学校に進学した際にも適用される事となります。

つまり、近隣府県の私学にとつても60万円を超える部分は保護者に請求する事ができず学校側が負担する事になる訳です。

これについても他府県の関係者は、「同じ教育を提供しながら、大阪からの生徒はタダで、その他の生徒は授業料を支払わなければならないというのは、教育の公平性や公正性が問われる問題だと思います。」



思います。吉村知事や維新の方々は大阪さえ良ければそれで良いとお考えなのではないでしょうか？ちなみに私共は、何も聞かされておらず突然の話で驚いております。」と疑問を呈しました。

これらの反発に対して吉村知事は記者会見で、「公約に掲げた以上、何としても実現したい。それぞれの学校と丁寧な説明をさせて頂き、理解を求めたい。」と語りました。

制度案では来年の4月の新3年生を皮切りに段階的に拡充させる予定となっており、残された時間はありません。府議会での議論に注目したいと思います。



# 質問主意書 木下市議が怒涛の47問!!

## ～横山新市長に宣戦布告～

改選後、初の議会となった5月議会に、木下市議(自民)は、就任間もない横山新市長に47問の質問主意書を提出しました。

内容的には、市長の退職金ゼロのカラクリや議員定数削減に関する市長発言、不登校児童、生徒に対する取り組み等、市民が聞きたい質問が列挙されています。

詳しい内容を知りたい方は、木下事務所までお問い合わせ下さい。答弁書のコピーを頂けるそうです。



闇のクマさん  
YouTube



小坪慎也  
ブログ

また、一部のユーチューブ等でも取り上げられていますので、QRコードからご覧下さい。

選挙が終わっても、休む間もなく全力疾走で取り組む木下市議に拍手。

# 木下吉信議員のプロフィール



昭和36年 木下家の長男として阿倍野区に生まれる。  
父 木下伸生 第78代 大阪市会・議長  
祖父 木下常吉 第55代 大阪市会・議長  
第50代 大阪市会・副議長

昭和49年 大阪教育大学付属天王寺小学校卒業  
昭和52年 同志社香里中学校卒業  
昭和55年 同志社香里高校卒業  
昭和59年 同志社大学文学部社会学科卒業  
●中学から大学までの10年間は、ラグビー部で選手として活躍。  
●同志社大学時代は、4年間で3度の大学日本一に輝く。  
昭和59年 大学卒業後、毎日放送に入社。  
報道局で5年間、スポーツ局で3年間、取材記者として活躍。  
●報道局在勤中は、グリコ・森永事件や山口組VS一和会の抗争事件など重要事件の取材を担当したほか、昭和天皇ご崩御の際はJNN特別取材班の一員として宮内庁記者クラブで昭和最後の日を迎える。  
●また、国政選挙、統一地方選挙などの報道取材を通じ、国政市政の抱える問題点をさまざまな角度から勉強する。  
●スポーツ局では、プロ野球をはじめ、ゴルフ、ラグビー、駅伝などのチーフディレクターをつとめる。

平成4年 3月 ・父の遺志を継いで大阪市会議員補欠選挙に初当選。  
平成7年 4月 ・大阪市議に再選。  
平成7年 5月 市会運営理事(第90代徳田議長付)  
平成9年 6月 文教経済委員長  
平成11年 4月 ・大阪市議に三選。  
平成11年10月 自民党大阪府連青年局長  
平成12年 6月 市会運営理事(第95代天野議長付)  
平成12年10月 市会運営理事(第96代玉木議長付)  
平成15年 4月 ・大阪市議に四選。  
平成16年11月 一般会計・決算特別委員長  
平成17年 6月 交通水道委員長  
平成19年 4月 ・大阪市議に五選。  
平成22年 6月 大阪市・監査委員  
平成23年 4月 ・大阪市議に六選。  
平成25年12月 第110代・大阪市会 議長  
平成26年 5月 関西広域連合・議会議員  
平成27年 4月 ・大阪市議に七選。  
平成27年 5月 第115代・大阪市会 副議長  
平成27年11月 自民党・政令指定都市議連・政調会長  
平成29年11月 自民党・政令指定都市議連・幹事長  
平成31年 4月 ・大阪市議に八選。  
令和元年 5月 自民党大阪府連・総務会長  
令和元年11月 自民党・政令指定都市・議員連盟・会長  
令和4年 1月 自民党・政令指定都市・連絡協議会・幹事長  
令和5年 4月 自民党大阪府連・総務会長に就任。

【現在】 ●自民党大阪府連・総務会長  
●大阪市会・民生保健委員会・委員  
●自民党・大阪市議団・商業振興議連・会長

## 第95回 木下塾

- 日時 令和5年9月16日(土) 午後7時～午後9時
- 場所 阿倍野市民学習センター「講堂」(あべのベルタ3階)
- 定員 100名 入場無料
- テーマ 「未定」

※政治状況によりテーマが変更になる事があります。  
※お問い合わせ・ご意見は、木下事務所まで ☎06-6621-2651

### 過去の開催状況

回数	日時	テーマ
第94回	令和5年6月17日(土) 19時～	「維新圧勝! 統一地方選・総括」 ～今後の市政運営の行方～
第93回	令和5年3月11日(土) 19時～	「統一地方選・直前情報」 ～維新の市議会過半数の可能性～
第92回	令和4年12月17日(土) 19時～	「金塚小が廃校!？」 ～学年単学級の過少校対策について～
第91回	令和4年9月10日(土) 19時～	「維新・初の代表選」 ～新代表は何をを目指すのか?～
第90回	令和4年6月4日(土) 19時～	「大阪市と中国の関係について」 ～上海電力の太陽光発電～ ～武漢港とのパートナーシップ港～

## 編集後記

「今国会での解散は考えておりません」

岸田首相のこの発言で、衆院の解散総選挙は秋以降に持ち越されました。

それに呼応するかのようには、維新は公明党選挙区への候補者擁立を表明。

自民党本部では大阪刷新プロジェクトが始動。

多くの選挙区で、候補者選考の公募が決まりました。

候補者の顔を変えただけで、維新に対抗できるのか、疑問の声もあります。が、維新政治に一石を投じる潮目を変えるプロジェクトとなる事を期待しています。

